

| | | |
|--|---|--|
| <p style="text-align: center;">日本語表現論 (Japanese Expression)</p> | <p style="text-align: center;">1年・後期・2単位・必修 3専攻共通・担当 鍵本 有理</p> | |
| | <p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-1 (80%), A-1 (20%)</p> | <p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 (f), (a)</p> |
| <p>〔講義の目的〕 技術者は、各自の専門分野や研究内容を、他人にわかりやすく説明できる能力が求められる。また、社会人としてもあらゆる状況において、物事を説明したり各種の文書を作成したりする能力が要求される。さまざまなメディアが発達した現在こそ、基本である「言葉による表現」ということを見直す必要がある。 本講義では、日本語による表現能力（書く・話す・聞く）を養成することとする。</p> | | |
| <p>〔講義の概要〕 さまざまな種類の文章を実際に書きながら、文章についての基本的な知識を身につける。 また文書の形式を学びながら、よりわかりやすい表現について考える。 「話す」ことについても、自己紹介などの状況設定でロールプレイを行い、実践することとする。</p> | | |
| <p>〔履修上の留意点〕 表現するという事は、日常の学習や生活に密着した問題であるので、日頃自分たちが行っている会話、目にする文章の表記や形式・表現方法について、問題意識を持っておくことがのぞましい。</p> | | |
| <p>〔到達目標〕 1) 「書く」「話す」「聞く」という表現において、基本的な知識と技法を身につける。 2) 公的な文書の形式を理解し、また、わかりやすい表現について考え、工夫することができる。</p> | | |
| <p>〔評価方法〕 授業中の演習態度・課題提出（60%）と試験（40%）で総合評価する。 補助教材や課題プリントは全てA4ファイルに保存し、随時提出することとする。</p> | | |
| <p>〔教科書〕 私家版テキストを使用する。（購入については最初の講義時に説明する） 〔補助教材・参考書〕 プリントを用意する。 国語辞典を一冊準備しておくといよい（講義中に説明する）。 『日本語を話すトレーニング』野田尚史・森口稔、ひつじ書房 『文章作法事典』樺島忠夫、東京堂出版</p> | | |
| <p>〔関連科目〕 各自の専門科目を含めた全ての科目。 国語等の科目だけでなく、受講生の研究内容紹介などもふまえて講義を行う。</p> | | |

講義項目・内容

| 週数 | 講義項目 | 講義内容 | 自己評価* |
|------|------------------------|--|-------|
| 第1週 | ガイダンス/ グラフの利用(1) | 講義の進め方等のガイダンス、「よい文章」の定義/ グラフの書き方・有効な利用の仕方について考えさせる。 | |
| 第2週 | 文章を書く基礎知識 グラフの利用(2) | 原稿用紙の使い方について確認する。誤字に対する注意 力を養う。グラフの効果的な作図について解説する。 | |
| 第3週 | 自己紹介の方法 推敲・校正記号 | 志望動機書を例に、印象に残る文章について考えさせる。 推敲の仕方・校正記号について解説する。 | |
| 第4週 | 面接について 構想メモの作成 | 自己紹介を実践し、好印象を与える面接について考えさせ る。「ブレン・ストーミング」を利用して構想を練る能力 を養う。 | |
| 第5週 | 客観的表現・作文 | 客観的な表現方法を理解させる。 構想メモを生かした作文を書く。 | |
| 第6週 | 描写の方法 | 物事を文章で描写する能力を養う。 | |
| 第7週 | 表記の問題 | 「常用漢字」や送り仮名、外来語の表記に関する問題意識 を持たせる。 | |
| 第8週 | 手紙(1) | 手紙の形式に関する基本的知識を身につけさせる。 | |
| 第9週 | 手紙(2)・説明の仕方(1) | 手紙を書く能力を養うとともに敬語について解説する。 「説明の仕方」の教材を準備する。 | |
| 第10週 | 説明の仕方(2) | 物事を順序立てて説明する方法と、その際の注意点を考え るようにする。 | |
| 第11週 | わかりやすい表現(1) | 公文書の形式を利用して、わかりやすく表現する方法につ いて考えさせる。 | |
| 第12週 | わかりやすい表現(2) | さまざまな文章を例として、よりわかりやすい表現を工夫 する能力を養う。 | |
| 第13週 | 小論文(1) | 小論文の書き方について解説する。 | |
| 第14週 | 小論文(2)・悪文 | 小論文を作成する。「悪文」について考えさせる。 | |
| 第15週 | まとめ/よい文章とは | 「悪文」についての講義、またこれまでの講義内容をふま え、再び「よい文章」について考えさせる。 | |
| 試験 | | | |

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)